

Ludwig van Beethoven

「ベートーヴェンの森」公開講座

「英雄」と ベートーヴェン・チクルス

10月に開催される神戸市室内管弦楽団の「ベートーヴェンの森」公演では、ついに「英雄」が登場します！今回の講座では、交響曲 第3番「英雄」に焦点を当て、ベートーヴェン音楽の更なる魅力に迫ります。

日時・ところ

2020年

9月16日(水)

【午前の部】11:00～12:30
北区文化センター
多目的ホール
(すずらんホール1階)

【午後の部】15:00～16:30
東灘区文化センター
多目的ホール(9階)

講師

小石 かつら

受講料

500円

※「ベートーヴェンの森」第5回公演のチケットをお持ちの方は無料で受講できます。
※講座当日に限り、「ベートーヴェンの森」第5回のチケットを500円引きで販売いたします。
※定員(各会場:30名)に達した場合は募集を締め切ります。
※事前申し込みが必要です。
※演奏はございません。

お申込み方法

各会場にお電話もしくは受付にてお申し込みください。
申込み受付開始日:8月20日(木)

お申込み・お問合せ先

北区文化センター 078-593-1150
東灘区文化センター 078-822-8333

主催

(公財)神戸市民文化振興財団

転換点となった《英雄》 交響曲が演奏会のメインに、 そしてチクルスに

ひとりの作曲家の交響曲を全曲演奏する。これを初めて実施したのは、ドイツのゲヴァントハウス管弦楽団でした。1822年、ベートーヴェンの第1番から第8番までの交響曲を全曲演奏したのです。そして「第九」が完成して全9曲となった1825年のシーズンには、早速チクルスでお披露目され、その後ほとんど毎年、ベートーヴェンの交響曲は全曲演奏され続けることになりました。それだけではありません。「交響曲」というのは長い間、オーケストラの演奏会でメインの曲目ではなかったのですが、《英雄》が現れたことで大転換がもたらされることになったのです。これらをひとつひとつ、史料をみながらたどりたいと思います。



小石 かつら

Katsura Koishi

京都生まれ。京都市立芸術大学大学院でピアノを、ライプツィヒ大学、ベルリン工科大学、大阪大学大学院文学研究科で音楽学を学ぶ。博士(文学)。専門は19世紀西洋音楽史。とりわけ近代的なオーケストラ演奏会の成立と変遷の解明を課題として、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のプログラムを調査している。共訳書に『シャンドールピアノ教本』(春秋社)、『ギンブラー・モーツァルト』(春秋社)。共著に『ドイツ文化史への招待』(大阪大学出版会)、『他者との邂逅は何をもたらすのか』(昭和堂)。京都大学白眉センター特定助教を経て、現在、関西学院大学文学部教授。



生誕250年ベートーヴェン・チクルス ベートーヴェンの森 第5回

指揮:下野 竜也
ピアノ:シャイ・ウォスナー
管弦楽:神戸市室内管弦楽団

2020年10月10日(土)15:00開演(14:30開場) 神戸文化ホール 中ホール

2020年10月11日(日)15:00開演(14:30開場) 紀尾井ホール

チケット価格 S席 4,000円 A席 3,000円 U25(25歳以下) 1,000円

曲目 ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58
交響曲 第3番 変ホ長調 作品55『英雄』

※セット券の販売もあり(10月9日(金)まで)

チケット発売場所 <神戸・東京公演> 神戸文化ホールプレイガイド 078-351-3349
チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード:183-626
ローソンチケット 0570-000-407 Lコード:52032
<神戸公演のみ> 神戸国際会館プレイガイド 078-230-3300
<東京公演のみ> 紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061
カジモト・イープラス 0570-06-9960

詳しくはホームページでご確認ください。<https://www.kobe-ensou.jp>